



NEWS

**国道498号 若木バイパス開通!**

9月8日、国道498号若木バイパス開通式典が開催されました。今回開通したのは、若木町内の上宿地区から宿地区までの延長約3・4kmです。式典では、武雄北中学校3年の大古場奏多さんが「地域の声」として喜びを発表されました。セレモニーでは若木小学校5・6年生による「若木大楠太鼓」が披露され、テープカット・久寿玉開披では、大楠の里こども園の園児の皆さんにお手伝いをしていただき、若木町消防団ラップ隊によるファンファーレ吹奏で華が添えられました。新たに開通した国道498号若木バイパスをぜひご利用ください。



NEWS

**これからもお元気で! 敬老会が開催されました**

「敬老の日」にちなみ、市内各地で敬老会が開催されました。今年度、敬老会の招待者は8017人(75歳以上)で、そのうち100歳以上の方は56名。敬老会では、各種団体からの出し物で盛り上がり、笑顔あふれる会となりました。9月1日時点での市内最高齢者は故山田エイさん。9月3日に亡くなられ、107歳でした。市内男性最高齢者は川崎益見さん。100歳です。お二人には市より記念品が贈呈されました。武雄市では今年度、高齢者の方々が元気で生き生きと暮らして行けるよう高齢者施策に力を入れています。



NEWS

**自ら企画し、取り組み、そして発表の舞台へ**

7月～8月、高校生の視点でのまちづくりへの参画を目的に佐賀県立武雄高等学校と連携し、「高校生のまちづくり参画事業」を実施してきました。武雄高校生32名が6つのプロジェクトに分かれ、取材やアンケート調査、イベント開催等のアクションプランを実践。卓球部の皆さんは、昨年に引き続き継続事業を実践してくれました。最終回は「報告会・共感プレゼンテーション」を行いました。小松市長は各プロジェクトへの講評を行い、総評として「これをきっかけにまちづくりに関わってほしい」と話しました。武雄高校生の皆さん、まちづくり参画事業への参加ありがとうございました!



NEWS

**一般社団法人全国空き家バンク推進機構と連携協力に関する協定を締結しました**

8月28日、武雄市と一般社団法人全国空き家バンク推進機構は幅広い分野で相互に協力し、将来にわたって「持続可能なまちづくり」に寄与することを目的とし、連携協力協定を締結しました。市役所で行われた協定の締結式では、小松市長が、「特に高齢者の移動手段確保などの、高齢者福祉に対してしっかりと取り組み、地方創生へつなげていきたい」と挨拶。全国空き家バンク推進機構の樋渡理事長は、「武雄市と連携協定を締結することは本当に意義深い。空き家を通じた公民連携の形が武雄市から生まれることを強く期待している」と挨拶されました。